

第35回全日本学生ライフセービング選手権大会
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「第 35 回全日本学生ライフセービング選手権大会」を開催にあたり、現在の開催方針をお知らせいたします。

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン】（準備中）を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに付随して、主催者・参加者がすべきこととしてチェックリストを公開する予定ですので、ぜひご活用願います。

新型コロナウイルスの流行に対し、要項発表の時点では実施の方向で準備を進めていますが、今後、感染拡大の危険性、流行のピーク、開催地を管轄する都道府県及び自治体の方針などをふまえ開催中止も含め変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

敬具

記

- 競技会名称 第 35 回全日本学生ライフセービング選手権大会
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 日程 2020 年 10 月 3 日(土)～4 日(日)
- 会場 御宿中央海岸（千葉県夷隅郡御宿町須賀 31）
- 後援（予定） 国土交通省、スポーツ庁、消防庁、海上保安庁、千葉県、千葉県教育委員会、御宿町、御宿町教育委員会、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
- 協力（予定） 勝浦海上保安署、一般社団法人御宿町観光協会、国際武道大学トレーナーチーム、千葉県ライフセービング協会、特定非営利活動法人九十九里ライフセービングクラブ、御宿ライフセービングクラブ

■ 本競技会の運用について（予定）

新型コロナウイルス感染症における感染拡大予防及びその他事情から、2019 年度実施と比較して以下の変更や対策を施したうえで競技会実施を予定している。なお、今後の動向によって変更又は開催中止とする場合がある。

- 【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン】（準備中）に則り、競技会運営を行う。
- 種目ごとの人数制限を撤廃し、より多くの学生ライフセーバーに参加してもらい、学生ライフセーバー一人一人、そして学生ライフセーバー全体の救助能力向上を図る。
- 10 月 3 日(土)を女子種目のみ、10 月 4 日(日)を男子種目のみ、として実施する（宿泊日数を減らす、競技会会場での混雑及び 3 つの密を少しでも避けるための対策）。
- 上記事項を守り、且つ競技進行を考慮し、本競技会は「個人種目のみ」にて実施する。
- 総合順位算出の獲得点は「ブロックシステム」を採用する。
- 資器材（クラフト）の不足を解消するため、提携企業による有償レンタルを手配実施する。レンタル費用は各団体／クラブの負担とする。
- 今年度開催に限り、「BLS アセスメント」の実施を見送る予定である（新型コロナウイルス感染症対策によるもの）。
- 本協会主催競技会（2020 年 9 月～10 月開催分）の開催可否は、以下を目安として判断する予定である。
 - ① 2020 年 8 月 3 日(月)頃 ※募集 1 次要項公開直前
 - ② 2020 年 9 月 1 日(火)頃 ※エントリー締切日直前
 - ③ 2020 年 9 月 12 日(土)頃 ※本競技会開催 3 週間前

■ 競技種目

[個人種目]

01	サーフレース (女子)
02	サーフレース (男子)
03	ボードレース (女子)
04	ボードレース (男子)
05	サーフスキーレース (女子)
06	サーフスキーレース (男子)
07	オーシャンウーマン
08	オーシャンマン
09	ビーチフラッグス (女子)
10	ビーチフラッグス (男子)
11	ビーチスプリント (女子)
12	ビーチスプリント (男子)
13	ビーチラン (2km) (女子)
14	ビーチラン (2km) (男子)

- [個人種目] 種目の登録数は競技者 1 人につき 2 種目までとする。3 種目以上の追加は認めない。

■ 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2020 年版> (2020.06.04 版)」及び競技会参加規程に則り実施をする。詳しくは競技会参加規程 7. を参照すること。

※競技ルールを十分に理解して出場すること。

■ タイムテーブル

調整検討中

■ 得点/団体総合順位

決勝の結果に対して各種目の上位 1 位～8 位を入賞とし、得点が加算される。配点は以下の通りとする。

1 位-8 点 2 位-7 点 3 位-6 点 4 位-5 点 5 位-4 点 6 位-3 点 7 位-2 点 8 位-1 点

- ブロッキングシステムを採用する。同種目に同じ団体/クラブの競技者が複数人入賞した場合、最も上位の順位のみが獲得点として反映される。
- 団体/クラブの獲得点が高点の場合、1 位の種目が多い団体/クラブを上位に、1 位の種目が同数の場合は 2 位の種目が多い団体/クラブを上位に…、として団体総合順位を決定する。
- 決勝で失格の場合は「0 点」とする。
- 団体総合順位は男女別とし、本競技会で実施する 7 種目中 5 種目 (全体種目の 70%) 以上の最終競技結果をもって、成立するものとする。

■ 表彰

<種目別表彰>

各種目上位 1 位～3 位にメダルを授与する。

<団体総合表彰>

前項 (得点/団体総合順位) の獲得点を集計し、獲得点の多い上位 1 位～3 位の団体/クラブに表彰状を授与する。また、上位 1 位 (総合優勝) には本協会理事長杯を贈る。

■ 参加費

【競技者個人】

競技者 1 名につき 8,000 円 (予定) ※保険代含む

【変更手数料】

1 つの変更につき 3,000 円 (予定)

- 申込締切後であっても、各種変更 (出場種目変更及び追加、その他の記載事項の修正、など) を可能とする。但し、申込締切時にエントリーが完了している競技者のみを対象とする。
- 新たな競技者のエントリーは一切認めない。
- 変更手数料の振込先は、エントリー参加費と同様の口座とする。期限内に必ず支払うこと。期限内に変更手数料が支払われない場合は一切の変更を受け付けない。
(変更例)

種目を1つ変更する場合=3,000円(予定)

種目を2つ変更する場合=6,000円(予定)

【参加費の扱いについて】

以下のような状況であっても、参加費及び変更手数料は返還されない。

- 参加競技者が欠場あるいは失格となった場合。
- 申込締切後に出場登録が取り消された場合。
- エントリーミスによる競技会出場不可の場合。
- 天候その他の理由により、やむを得ず開催中止となった場合。

但し、本競技会に限り、新型コロナウイルスの流行に対し、今後感染拡大の危険性、流行のピークなどをふまえ事前に開催中止と判断された場合はこの限りではない。この場合による参加費返金は以下の通りとする。但し、振込手数料は返金額から差し引くこととする。

- 競技会当日から2週間以上前の判断による場合：参加費の70%を返金
- 競技会当日から2週間以内の判断による場合：返金しない

【その他】

後述するテクニカルオフィシャルの選出エントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも競技会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料(選出審判員の不備：30,000円)が科される場合がある。参加するテクニカルオフィシャルが【参加規程】を満たしているかよく確認し、不備がないうえで申込締切日までにエントリー作業を進めること。

エントリー不備がある時点で、本来であれば出場は不可である。期日までにエントリーを正しく完了している団体/クラブと、公平性を保つ為の処置とする。

※参加競技者本人及び参加団体/クラブのエントリーに不備があった場合は、いかなる理由でも救済を認めない。そのため、参加競技者及び参加団体/クラブともに申込締切日までに【参加規程】を満たしているかどうか、各団体/クラブの代表者は必ず確認をすること。

■ テクニカルオフィシャルの選出

参加団体/クラブの参加競技者人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をすること。競技会運営を円滑に実施するための措置とする。競技会参加規程9.を遵守すること。

■ 代表者会議

競技進行や競技実施における注意事項等について説明する代表者会議を、競技会の前に開催する。団体/クラブ代表者(やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者)は必ず出席をすること。詳細は2次要項にて、エントリー担当者宛にメールで配信をする。

開催日時：調整中

開催場所：調整中

■ 宿泊について

宿泊手配が必要な場合は、一般社団法人御宿町観光協会を通して手配をすること。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各大学及び各団体/クラブにおいて、宿泊利用をすることがどうかよく検討をすること。また、一般社団法人御宿町観光協会及び宿泊施設のルール(感染症の対策、収容人数、など)を遵守すること。

■ 会場へのアクセス/駐車場について

御宿中央海岸

千葉県夷隅郡御宿町須賀31

- 海岸隣接の公営駐車場は競技会スタッフ優先のため、利用不可とする。
- 絶対に違法駐車はしないこと。

■ 情報発信

競技会専用のSNSを活用し、競技会関係各位へ2次的に情報提供をするため運用を行う。本競技会に限らず、国内の競技会全般の情報発信とする。

SNS名称：Facebook

アカウント名称：JLA Lifesavingsport

<https://www.facebook.com/jla.lifesavingsport/>

■ 申込方法

1 次要項にて案内する。

■ その他

【競技成績証明書】

各種目で入賞した競技者で競技成績証明書が必要な場合、本協会 LIFESAVING SITE「ライフセービングスポーツ」→申請・規定・規則→競技成績」より「競技成績証明書」を入手し、本協会事務局まで提出すること。発行申請は該当する競技会より1年以内の期間で受付をする。

【スポーツ育成委員会より】

本競技会は、第12期ハイパフォーマンスプログラム（第12期HPP）の選考対象（参考）とする。本競技会における個人種目の結果を参考に、第12期HPPに応募された競技者を対象に、ハイパフォーマンスチームに選出する。

■ オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得し、管理ページにて保有資格等の確認と2020年度登録費（個人：資格登録や選手登録、団体：団体登録）の支払いを済ませること。各種登録は1年ごとである。なお、登録方法の手順や不明点は、「LIFESAVERS」の問い合わせフォームから問い合わせをすること。

<https://life-savers.jp/>



■ 保険について

競技会参加規程のもとでの参加者（競技者、競技役員）は、以下の保険に加入している。なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため、保険の対象とはならない（例：レース中、A競技者のクラフトがB競技者のクラフトにぶつかりB競技者のクラフトが破損した）。競技会期間中の場合は、競技会本部事務局に直ちに報告すること。

【傷害保険】

死亡保険金額	500万円
後遺障害保険金額	20万円～500万円
入院保険金額	3千円
手術保険金額	入院保険金額の5倍～10倍

※代理店：有限会社リプロ（0466-55-4388）

【個人賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	500万円
---------------	-------

※1事故につき5千円の事故負担
※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

【団体賠償責任保険】

賠償責任保険（身体・財物）	2億円
賠償責任保険（管理財物）	50万円
賠償責任保険（人格権侵害）	50万円
事故対応費	500万円
見舞費用（死亡）	50万円
見舞費用（後遺障害）	2万円～50万円
見舞費用（入院）	2万円～10万円
見舞費用（通院）	1万円～5万円

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

■ お問い合わせ

公益財団法人日本ライフセービング協会事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階
TEL：03-3459-1445（対応時刻：平日12:00～18:00）

FAX : 03-3459-1446

LIFESAVING SITE : <https://ls.jla-lifesaving.or.jp/>

第 35 回全日本学生ライフセービング選手権大会 参加規程

1. 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、競技会 1 日目当日満 18 歳以上でなければならない。
- 1-2 競技者は、ライフセービングを志し、指定された資格を保有した状態で出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、または教育・普及活動に従事した者でなければならない。
- 1-3 競技者は、大学・大学院・専門学校に在籍する学生であること。また、大学もしくは大学クラブ監督者（責任者）の参加承諾があること。
- 1-4 競技者は、本協会が認定するアカデミー資格（認定ライフセーバー資格のうち、サーフライフセービング資格※）を、申込締切日までに取得していなければならない（検定に不合格となった場合でも、競技会参加費は返還されない）。
※認定ライフセーバー資格のうち、サーフライフセービング資格とは次の資格のことを指す（JLA アカデミー規程集「資格認定に関する規程」より）。
 - サーフライフセービング・指導員（アシスタントインストラクター含む）
 - ベーシック・サーフライフセーバー
 - アドバンス・サーフライフセーバー
- 1-5 競技者は、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて 2020 年度の資格登録費及び選手登録費の支払いを完了していなければならない。

2. 団体／クラブ構成

- 2-1 団体／クラブは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて本協会第 3 種又は第 4 種の団体登録が完了していなければならない。
- 2-2 1 団体／クラブからの出場は 1 つまでとする。
- 2-3 団体／クラブは、同じ団体／クラブに所属する競技者により構成され、且つその団体／クラブの大学・大学院・専門学校に学籍がある学生のみにて構成されていなければならない（競技者は、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて、「クラブ加入申請」または「継続加入申請」を行い、出場する団体／クラブへの所属を完了させること）。
- 2-4 本競技会におけるチーム構成は、男子チーム・女子チームとする。男女混合チームを編成することは認められない。

3. 団体／クラブ名称

参加団体／クラブ名称は、本協会に登録されている団体／クラブ名称とする。

4. 出場登録

- 4-1 参加競技者は、予め所定の用紙（電子データファイル）を用いて出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等が発覚した場合は、団体／クラブ代表者及びエントリー担当者にメールでのみ通知をする）。
- 4-2 エントリーに過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」が出来る。但し、既に出場登録が完了している者のみ対象とし、新たな競技者の追加登録は認めない。なお、個人種目の全種目について、変更又は追加が出来るものとする。

5. 団体／クラブ代表者

各参加団体／クラブは、団体／クラブを代表する者として代表者を 1 名置かなければならない。なお、団体／クラブ代表者と競技者はこれを兼任することが出来る。また、団体／クラブ代表者（やむを得ない場合は参加競技者の中から代表者に準ずる者）は必ず代表者会議に出席しなければならない。

6. ユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各団体／クラブは、式典や表彰式及び競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り、競技中任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。
- 6-3 キャップは、競技会のエントリー締切日までに本協会に登録されていなければならない。

- 6-4 キャップは、団体／クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。
- 6-5 団体／クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

7. 競技規則

本協会発行「ライフセービング競技規則<2020年版>(2020.06.04版)」及び下記の事項に則り実施をする。但し、下記の事項が競技規則よりも優先させる。

- 7-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。但し、抗議、上訴又は規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 7-2 競技会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規程、手順を知る責任と義務があることを認識しているものとする。
- 7-3 決勝はA決勝、B決勝に分けず、1ヒート(A決勝に相当)のみとする。
- 7-4 予選後のラウンド、準々決勝・準決勝の組み合わせ配置は、直前の予選・ラウンドの結果に関係なく、ランダムに行われる。
- 7-5 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、テクニカルオフィシャルの指示により整列すること。
- 7-6 ハンドラーは、原則として当該競技者と同じチームのメンバー(本競技会に競技者として出場登録している者)とする。やむを得ずチームメンバー以外からハンドラーを選出する場合、チーフレフリーが認める可能性があるのは、同様に本競技会に競技者として出場登録している者に限る。

8. 競技器材

- 8-1 競技で使用する器材は、本協会発刊ライフセービング競技規則の「第8章 設備及び器材の規格と検査手順」の基準を満たさなければならない。
- 8-2 オーシャン競技で使用するバトン、ブイ、レスキューチューブは、主催団体が用意する。
- 8-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか又は失格となる。

9. テクニカルオフィシャルの選出

- 9-1 参加団体／クラブは、参加競技者数に応じてテクニカルオフィシャルを選出しなければならない。選出する人数は以下の通りとする。なお、女子チーム・男子チームは別であるため、別々に選出すること(男女合わせての競技者数ではない)。
競技者6～10名=1名、同11～20名=2名、同21～40名=3名、同41名以上=4名
何らかの理由でテクニカルオフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。両日に渡り必要人数の選出がない(競技会当日に必要な人数のテクニカルオフィシャルの参加がない)団体／クラブは、本競技会への出場を認めない(団体／クラブ全体の不参加とする)。
- 9-2 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定する認定審判員資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。また、本競技会に競技者として出場登録をしていないこと。
- 9-3 選出するテクニカルオフィシャルは、本協会が認定するBLS資格を、申込締切期日までに取得していなければならない。
- 9-4 選出するテクニカルオフィシャルは、申込締切期日までに、オンライン登録管理システム「LIFESAVERS」にて2020年度の資格登録費の支払いを完了していなければならない。
- 9-5 選出されたテクニカルオフィシャルは、「競技役員1次要項」に従い、指定された方法で申込を行うこと。
- 9-6 選出されたテクニカルオフィシャルの参加に関わる交通費、食事、宿泊等は「競技役員1次要項」に基づき、主催者が負担する。但し宿泊に限り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、主催者の手配ではなく各団体／クラブでの手配となる(委ねる)場合がある。
- 9-7 選出されたテクニカルオフィシャルは、女子チーム選出の場合は10月3日(土)に、男子チーム選出の場合は10月4日(日)に、それぞれ少なくとも1日は参加できること。

10. その他

- 10-1 本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者(競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員)は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン】(準備中)を必ず熟読し、それらを確実に遵守すること。
- 10-2 競技会中に競技会主催者及び競技会主催者が認めた者が撮影した写真や映像を、ライフセービング

の広報の目的で使用することがある。

- 10-3 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。なお、撮影された記録の提出を求める場合がある。
- 10-4 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。

以 上